

授業科目

公衆衛生学

担当教員名 遠藤 和男	対象学年	1	対象学科	健栄
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	○

授業の概要

管理栄養士の国家試験科目としての「社会・環境と健康」は、従来の「健康管理概論」と「公衆衛生学I」とから成っており、1年生前期の「健康管理概論」に続いて学習する。なお、疫学の考え方は2年後期の「疫学」で、卒業研究に必要な指標及び方法論については3年後期「統計情報処理」で学習する。「公衆栄養学」「公衆栄養学」は管理栄養士用の各論と捉えてもよい。

授業の目的

公衆栄養学及び同実習の基礎となる概念と考え方を修得するため、人生の各段階における宿主要因、環境要因及び疾病の予防対策について理解する。

学習目標

1. 公衆衛生の定義を説明できる。
2. 疾病予防の3段階について説明できる。
3. ライフステージ毎に特有な健康問題を指摘できる。
4. 主要な疾病について宿主要因と環境要因とを区別できる。
5. 種々の疾病それぞれの予防方法について実践するかまたは援助できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	公衆衛生の定義と歴史：公衆衛生の定義と諸外国及び日本の歴史について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
2	人口問題と衛生統計：日本の人口構成の変化及び人口動態統計の諸率について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
3	地域保健で用いる指標：罹患率や有病率について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
4	衛生行政と国際保健：保健所と市町村の役割分担、世界保健機関と国際問題を学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
5	環境保健I：生物学的な環境要因について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
6	環境保健II：物理、化学的な環境要因について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
7	環境保健III：水質汚濁、大気汚染などの公害問題について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
8	成人保健I：AIDSなどの感染症について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
9	成人保健II：がんの成因と予防法について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
10	成人保健III：循環器系疾患の成因と予防法について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
11	労働衛生と産業保健：歴史的及び最新の問題点について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
12	母子保健、学校保健及び少子高齢化問題点について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
13	老人保健と介護保険：高齢者医療の確保について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
14	精神保健等について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
15	まとめと国家試験問題の演習	まとめと演習	遠藤 和男

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	シンプル衛生公衆衛生学2016	鈴木庄亮、久道茂、編、中村和利ほか	南江堂	2016年	2,400円＋税	
参考書	これからの公衆衛生学 改訂第2版	田中平三編集、遠藤和男ほか	南江堂	2013年	3,200円＋税	
その他の資料	毎回レジュメを配布するので、ノート代わりに書き込むこと。					
	試験前に学内LANに過去10年間の問題を掲載する。					

評価方法

- 1)毎回の小テストの主たる目的は復習であるが、約20%とする。
- 2)国家試験形式による試験成績を約80%とする。

履修上の留意点

- ・臨床医学Iと交互で2コマ続きの変則的な講義となる予定である。
- ・2年後期の「疫学」や3年後期の「保健統計学」と重複する項目もある。
ただし、重要な項目については、あえて重複して教えることにしている。

オフィスアワー・連絡先

前後期とも火曜日 5 限
endo@nuhw.ac.jp
授業に関する質問などは、メールアドレスまでご連絡ください。